

平成23年度「学校協議会」記録（第3回）

日 時	平成24年2月15日（水） 15:30～17:00			
参加者	<b>協議会委員</b>	<b>職名等</b>	<b>学校事務局</b>	<b>校務分掌等</b>
	松本紀容子	守口市教育センター所長	国津賢三	校長
	森口 久子	森口医院	中西恒雄	教頭
	小谷裕実	花園大学教授	大鳥圭司	教頭
	福田 章男	社会福祉法人理事長	内海良和	事務長
	米丘幸穂	障がい者支援センター所長	室田 誠	小学部主事
	藤田浩子	卒業生保護者	出羽 卓男	中学部主事
	渋谷登志子	守口市障がい福祉課	佐野 薫	高等部主事
	<b>学校事務局</b>	<b>校務分掌等</b>	山本由紀子	教務部長
	奥 和浩	情報部長	藤川泰生	進路部長
	坂東敏男	研究部長	早野眞美	支援教育コーディネーター
	大町隆宏	通学バス部長	松井裕子	自立活動部長
	反町元司郎	総務部長	山根奈津子	健康安全部長
	篠矢理恵	指導養護教諭	中野 学	生徒指導部長
	おもな テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の情報発信について</li> <li>・校内見学アンケート結果について</li> </ul>		
協議内容 の概略	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新たに取り組んだ情報発信について</li> <li>○校内見学、初任に授業を参観して</li> </ul>			
協議及び提言 の概要	<p>○HPでの情報発信は双方向でやり取りが可能であり有意義。HPアクセス1224名があり、中にはHPをみて、紙すき作業の進め方を見に来られた。</p> <p>○不審者情報の保護者へのお知らせの方法や高等部生徒への注意喚起を含む指導の在り方を一定決めて、情報を共有できたのは意義があった。</p> <p>○初任の授業に限らず先生方の授業を参観するにはOT、PT、福祉関係者、ベテラン教師、他職種で見て、いろいろな観点で見、いろいろな意見、考え方がためになると思う。また、先輩の授業を見るのもためになるし、一人の教員を線で見るとその後の授業がどのように変化しているかをみるのも、学校全体や個々の教員の授業力を高める一つの方法である。</p> <p>○ベテランや中堅も後輩を育てるつもりで研究授業をするのもいい。</p> <p>○昨年度からこの学校協議会でも初任の先生の研究授業で学んだことを発表してもらっているが、このような場での発表も力をつけていってもらえるのではないかと。</p> <p>○教員が授業だけでなくさまざまな校務をこなしていくには、徒弟制度のようなシステムも一つのアイデアではないか？</p> <p>○教員としての個性、持ち味を大事にしながら、授業力を高める技能を身につけてほしい。</p> <p>○学校の教員は様々な年齢、さまざまな経験年数、また教育に関する考え方も様々です。それらを乗り越えて教員を育成していくうえでは授業の在り方の力量を高めていくのが一番重要と考えています。今回のご意見やご討論頂いた内容を生かして今後とも初任のみならず、全教員が力量を高められるシステム作りに取り組んでほしいと思う。</p>			